
2023 年度 定時総会 資料

2023 年度 定時総会次第

【資 料】

I 役員選出

- 1) 選挙により選出された役員の選任 [1号議案]
- 2) 会長候補が推薦する副会長及び
理事の条件付選任 [2号議案]

II 報告事項

- 1) 委員会等の設置について
- 2) 2023～2024 年度代議員

III 2022 年度事業報告 [3号議案]

IV 2022 年度決算報告 [4号議案]

V 2023 年度事業計画（案） [5号議案]

VI 2023 年度予算（案） [6号議案]

参考資料

一般社団法人 農業食料工学会 役員・代議員等名簿

一般社団法人 農業食料工学会 委員会等名簿

一般社団法人 農業食料工学会 名誉会員名簿



学会事務局ならびに Zoom による Web 会議
2023 年 6 月 24 日（土）

一般社団法人 農業食料工学会

目 次

2023 年度 定時総会 次第	2
I 役員選出	
1. 選挙により選出された役員の選任 [1 号議案]	3
2. 会長候補が推薦する副会長及び理事の条件付選任 [2 号議案]	3
II 報告事項	
1. 委員会等の設置について (2023～2024 年度)	4
2. 2023～2024 年度代議員	4
III 2022 年度事業報告 [3 号議案]	
1. 2022 年度定時総会	5
2. 会員集会及び学会賞表彰式	5
3. 第 80 回年次大会	5
4. 理事会	5
5. 学会員の現況	5
6. 学会誌の刊行状況	5
7. 委員会の活動	5
8. 部会の活動	10
9. 協賛・後援事業	
A. 地区ブロック活動	11
B. セミナー・学会等	15
10. 関連学会等	17
11. 業務監査	18
IV 2022 年度決算報告 [4 号議案]	22
V 2023 年度事業計画 (案) [5 号議案]	
1. 2023 年度 定時総会	27
2. 会員集会及び学会賞表彰式	27
3. 農業環境工学関連学会 2023 年合同大会	27
4. 理事会	27
5. 委員会の活動	27
6. 部会の活動	29
7. 協賛・後援事業	
A. 地区ブロック活動	29
B. セミナー・学会等	31
8. 関連学会等	31
9. その他	32
VI 2023 年度予算 (案) [6 号議案]	33
参考資料	36
一般社団法人 農業食料工学会 役員・代議員名簿	37
一般社団法人 農業食料工学会 委員会・部会名簿	38
一般社団法人 農業食料工学会 名誉会員名簿	41

2023 年度 定時総会 次第

I. 日 時：2023 年 6 月 24 日（土）10:00～12:00

II. 場 所：学会事務局ならびに Zoom による Web 会議

III. 次 第

1. 開会の辞
2. 議長選出・登壇
3. 会長挨拶
4. 役員選出
 - (1) 選挙により選出された役員の選任 [1 号議案]
 - (2) 会長候補が推薦する副会長及び理事の条件付選任 [2 号議案]
 - (3) 質 疑
 - (4) 一括採決
5. 報告事項
 - (1) 委員会の設置について
 - (2) 2023～2024 年度代議員
6. 2022 年度事業報告
 - (1) 事業報告 [3 号議案]
 - (2) 決算報告 [4 号議案]
 - (3) 質 疑
 - (4) 一括採決
7. 2023 年度事業計画（案）
 - (1) 事業計画（案） [5 号議案]
 - (2) 予算（案） [6 号議案]
 - (3) 質 疑
 - (4) 一括採決
8. 議長退席
9. その他
10. 新会長候補挨拶
11. 閉会の辞

I 役員選出（１・２号議案）

1. 選挙により選出された役員の選任〔1号議案〕

1) 理事（11名）

有馬 誠一 氏（愛媛大学）
飯田 訓久 氏（京都大学）
岩渕 和則 氏（北海道大学）
梅田 直円 氏（農研機構 農業機械研究部門）
岡安 崇史 氏（九州大学）
海津 裕 氏（東京大学）
川越 義則 氏（日本大学）
近藤 直 氏（京都大学）
長坂 善禎 氏（北里大学）
野口 伸 氏（北海道大学）
野口 良造 氏（京都大学）（以上、五十音順、敬称略）

2) 監事（2名）

小林 研 氏（農研機構 農業機械研究部門）
志藤 博克 氏（農研機構 農業機械研究部門）（以上、五十音順、敬称略）

2. 会長候補が推薦する副会長及び理事の条件付選任〔2号議案〕

1) 会長候補（代表理事） 飯田 訓久（京都大学）

2) 会長候補が推薦する副会長及び理事の条件付き選任

・副会長（理事）（2名）

安原 学 （農研機構 農業機械研究部門）
山本 二教（ヤンマーアグリ（株））

・理事（2名）

小川 幸春（千葉大学）
渡部 勉 （井関農機（株））

・ブロック長（理事）（5名）

- ・北海道ブロック長：竹中 秀行 氏（（一社）北海道農業機械工業会）
- ・東北ブロック長：小出 章二 氏（岩手大学）
- ・関東ブロック長：北村 豊 氏（筑波大学）
- ・関西ブロック長：伊藤 博通 氏（神戸大学）
- ・九州ブロック長：鹿内 健志 氏（琉球大学）

（以上、役職順、敬称略）

II 報告事項

1. 委員会等の設置について（2023～2024 年度）

【委員会】

<常設委員会>

庶務委員会：委員長 野口 良造（京都大学）

財務委員会：委員長 海津 裕（東京大学）

編集委員会：委員長（論文誌担当） 有馬 誠一（愛媛大学）

副委員長（情報誌担当） 深山 大介（農研機構 農業機械研究部門）

企画委員会：委員長 渡部 勉（井関農機（株））

表彰委員会：委員長 川越 義典（日本大学）

情報委員会：委員長 岩淵 和則（北海道大学）

国際交流委員会：委員長 岡安 崇史（九州大学）

産官学連携委員会：委員長 梅田 直円（農研機構 農業機械研究部門）

EAEF 誌編集委員会：委員長 小川 幸春（千葉大学）

<今期設置する委員会>

AABEA-JSAM 委員会：委員長 近藤 直（京都大学）

広報・会員対応委員会(新設)：委員長 長坂 善禎（北里大学）

他学会対応委員会（新設，仮称）：野口 伸（北海道大学）

（以上，組織順，敬称略）

【部会】

農業機械部会：部会長 野波 和好（鳥取大学）

食料・食品工学部会：部会長 小川 幸春（千葉大学）

IT・メカトロニクス部会：部会長 帖佐 直（東京農工大学）

生物資源部会：部会長 井原 一高（神戸大学）

（以上，組織順，敬称略）

2. 代議員（2023～2024 年度）名簿

浅谷 祐治	阿部 佳之	天羽 弘一	有馬 誠一	飯嶋 渡	飯田 聡
飯田 訓久	石井 一暢	石田 三佳	石突 裕樹	伊藤 博通	稲葉 繁樹
今村 剛	岩淵 和則	上加 裕子	梅田 直円	梅田 大樹	裏 猛
大久保 稔	太田 智彦	大谷 隆二	大森 弘美	岡本 宗治	岡安 崇史
岡山 毅	小川 幸春	小川 寛士	小川 雄一	奥野 林太郎	小野 弘喜
海津 裕	片平 光彦	勝野 志郎	金井 源太	上窪 啓太	川上 晃司
川越 義典	河野 元信	岸本 正	北村 豊	木下 統	小出 章二
小関 成樹	小林 研	小林 有一	小松崎 将一	近藤 直	紺屋 朋子
紺屋 秀之	酒井 憲司	佐藤 禎稔	鹿内 健志	志藤 博克	清水 一史
新熊 章浩	鈴木 尚俊	積 栄	高塚 裕一	竹中 秀行	建石 邦夫
田中 宗浩	田中 史彦	谷口 博則	近宗 克紀	張 樹槐	帖佐 直
塚本 茂善	土屋 史紀	土井 邦夫	土居 義典	富田 宗樹	中川 渉
長坂 善禎	長崎 裕司	中野 浩平	西津 貴久	野口 伸	野口 良造
野波 和好	萩原 昌司	長谷川 英夫	八谷 満	原 正純	日高 茂實
平井 康丸	藤岡 修	藤本 与	古屋 慎一郎	鈴井 格仁	前田 武己
町田 正人	松井 正実	松島 秀昭	水野 英則	深山 大介	元林 浩太
森本 英嗣	門田 充司	山根 俊	山本 二教	（以上、五十音順、所属・敬称略）	

Ⅲ 2022 年度事業報告 [3号議案]

1. 2022 年度定時総会を次の日程で開催した。

期日：2022 年 6 月 18 日（土）

場所：学会事務局ならびに Zoom による Web 会議

2. 会員集会及び学会賞表彰式を次の日程で開催した。

期日：2022 年 9 月 13 日（火）

場所：Zoom によるオンライン開催

3. 第 80 回（2022 年度）年次大会を次の日程で開催した。

期日：2022 年 9 月 12 日（月）～ 14 日（水）

場所：Zoom によるオンライン開催

4. 理事会を次の日程で開催した。

第 1 回：2022 年 5 月 21 日（土） Zoom によるオンライン会議

第 2 回：2022 年 5 月 27 日（金）～6 月 3 日（金） 持ち回りメール審議

第 3 回：2022 年 8 月 2 日（火）～9 日（火） 持ち回りメール審議

第 4 回：2022 年 9 月 12 日（月） Zoom によるオンライン会議

第 5 回：2022 年 9 月 20 日（火）～27 日（火） 持ち回りメール審議

第 6 回：2022 年 12 月 3 日（土） Zoom によるオンライン会議

第 7 回：2022 年 12 月 9 日（金）～ 16 日（金） 持ち回りメール審議

第 8 回：2023 年 2 月 15 日（水）～ 22 日（水） 持ち回りメール審議

5. 学会員の現況

農業食料工学会会員数とその地区別・資格別内訳を表 1，表 2 に示す。

6. 学会誌の刊行状況

農業食料工学会誌第 84 巻第 1 号～第 85 巻第 2 号の構成を表 3 に示す。

7. 委員会の活動

1) 庶務委員会

・拡大委員会：4 回開催

第 1 回：2022 年 5 月 17 日（火） Zoom によるオンライン会議

第 2 回：2022 年 6 月 17 日（金） Zoom によるオンライン会議

第 3 回：2022 年 9 月 6 日（火） Zoom によるオンライン会議

第 4 回：2022 年 11 月 29 日（火） Zoom によるオンライン会議

・委員会：随時，メール・電話にて会議を行った。

・定時総会，理事会（8 回開催）の運営業務を行った。

・他学協会の事業への協賛受諾，当学会の事業への協賛依頼など，文書の接受及び施行の業務を行った。

・外部学協会等への役員，委員などの推薦業務を行った。

2) 財務委員会

- ・財務委員会：随時実施した。
- ・2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）における毎月（当該月 25 日現在）の財務状況を確認した。
- ・2022 年度決算（表 4， 5， 6， 7）を検討し作成した。
- ・各委員会，部会からの収支報告および来年度予算配分希望を取りまとめ，2022 年度予算（案）（表 8， 9）を検討して作成した。
- ・監事による 2022 年度会計監査（2023 年 4 月 26 日）を学会事務局において実施した。

3) 編集委員会

- ・合同編集委員会：1 回開催
第 1 回：2022 年 9 月 13 日（火）オンライン会議
- ・情報誌担当小委員会：随時，メール・電話にて会議を行った。
- ・論文誌担当小委員会：随時，メール・電話にて会議を行った。
- ・学会誌第 84 巻 3 号から第 85 巻 2 号の編集・発行
- ・J-STAGE に 82 巻 1 号から 6 号が公開
- ・第 14 回（2022 年）論文賞（研究論文・技術論文）候補を選考し，理事会の承認を経て次の通り決定した。
 - ◇論文賞（研究論文）：促成栽培イチゴの生育診断に資する生体計測手法—生長点の露出に必要な気流条件の検討—．農業食料工学会誌，第 84 巻 5 号，（著者：坪田将吾・難波和彦・深津時広）
 - ◇論文賞（技術論文）：自脱コンバインにおける巻き込まれ事故の未然防止装置の開発（第 1 報）—判別手法と試作構成要素の検討—．農業食料工学会誌，第 84 巻 5 号，（著者：岡田俊輔・積栄・志藤博克・松本将大）

4) 企画委員会

- ・委員会：3 回開催
第 1 回：2022 年 6 月 10 日（金）東京ビッグサイトにて開催（フーテック 2022 と同時開催）
第 2 回：2022 年 11 月 10 日（木）大宮農研機構にて開催
第 3 回：2022 年 12 月 12 日（月）Web 開催
- ・シンポジウム：2 回開催
 - ① フードテクノロジー（フーテック）フォーラム 2022
テーマ：『フードロス削減に向けた農産物・食品の品質・安全性の予測評価技術の最前線』
日時：2022 年 6 月 10 日（金）10:20～15:35
場所：東京ビッグサイト会議棟 6 階「605+606」
参加人数：255 名
 - ② 第 27 回テクノフェスタ
テーマ：『農業・食料分野における研究開発の戦略的マネジメント』
日時：2022 年 11 月 11 日（金）10:30～17:15
場所：オンライン開催
参加人数：238 名

5) 表彰委員会

- 表彰委員会では以下についてメール審議を実施した。
- ・2024 年度（令和 6 年度）日本農学賞候補者の選考を行った。
 - ・2023 年度（令和 5 年度）日本農業工学賞候補者の選考を行った。

- 候補者：志藤 博克 氏 氏（農研機構 農業機械研究部門）
 候補業績：「青刈りトウモロコシの省力化収穫調整技術の開発」
- ・2022 年度（令和 4 年度）学会賞の選考を行った。決定した受賞者は次の通りである。
 - ◇学術賞：小川 雄一 氏（京都大学大学院 農学研究科）
 受賞業績：「テラヘルツ波帯電磁波利用に関する農業食料工学分野への先導的研究」
 - ◇学術賞：海津 裕 氏（東京大学大学院 生命科学研究科）
 受賞業績：「低コスト RTK-GNSS による小型農業ロボットの自律走行制御」
 - ◇森技術賞：水上 智道 氏（代表；農研機構 果樹茶業研究部門），吉田 隆延 氏（農研機構 農業機械研究部門），宮原 佳彦 氏（元農研機構），（株）やまびこ
 受賞業績：「乗用管理機型ブームスプレーヤのブーム振動抑制装置の開発」
 - ◇研究奨励賞：斎藤 嘉人 氏（新潟大学 自然科学系）
 受賞業績：「光の多重散乱応答に基づく豆腐の微細構造評価手法の開発」
 - ◇技術奨励賞：田中 正浩 氏（農研機構 農業機械研究部門）
 受賞業績：「動的アシスト力測定方法の開発」
 - ◇功績賞：
 - 個人：酒井 憲司 氏
 - 特別会員：ヤンマーアグリ株式会社
 - ・「国際賞」は、応募推薦がありませんでした。

6) 情報委員会

- ・委員会：1 回開催
 - 第 1 回：2022 年 8 月 1 日（月）メール会議開催・議題問い合わせ
- ・会員メーリングリストへの配信
 - 学会からのお知らせ
 - 年次大会，主催・協賛・後援・関連イベントのお知らせなど
 - 教員・研究員公募などの情報
- ・会員メーリングリストのアドレス管理
 - 新規入会者，退会者，アドレス変更，各種メーリングリストの更新
- ・学会 Web サイトの情報更新
 - 学会からのお知らせ
 - 年次大会，主催・協賛・後援・関連イベントなどのお知らせ
 - 教員・研究員公募などの情報
- ・Web サイト上での海外会員向けページ用の情報拡充

7) 国際交流委員会

- ・委員会：グループウェアを用いて行った。
- ・テクノフェスタにおける国際分科会の開催について
 - 企画委員会と協力し，2022 年 11 月 11 日開催のテクノフェスタにおいて国際交流分科会を開催した。招待講演者の選考は国際交流委員会が担当した。詳細は以下の通りである。
 - 参加人数：30 名程度
 - テーマ：アジアにおける持続的な農業・食料供給システム
 Sustainable Farming and Food Supply System in Asia
 - 座長：岡安崇史（九州大学）
 - コーディネータ：Tofael Ahamed（筑波大学）

サポート委員：光岡宗司（琉球大学）

講演者 1：Muhammad Ashik-E-Rabbani 先生 (Bangladesh Agricultural University)

講演題目：バングラデシュ農業におけるデジタルトランスフォーメーション

講演者 2：Lukito Hasta Pratopo 先生 (Universitas Padjadjaran)

講演題目：農産物のサプライチェーン：農家と医薬品企業の戦略-インドネシアの生姜を例として-

- ・（一社）農業食料工学会 国際会議 CIGR 学生研究発表支援について

コロナ禍のため国際会議 CIGR への参加支援として「The XX CIGR world congress 2022 Travel Award」を新設し募集を行った。6 名の応募があり、審査の結果全員支援対象とした。提出された報告書の内容を精査した後、支援を実施した。

- ・ ISMAB2024 に向けたプレイベントの開催について（資料 7-1）

2023 年 3 月 13 日に九州大学大学院農学研究院と「International Joint Workshop on DX Research and Education to Realize Sustainable Food Production (ONLINE)」を共催した。参加者は九州大学（現地）とオンライン参加を併せて 100 名程度であった。本イベントは次年度バリ島で本学会が主催する ISMAB2024 の事前準備を兼ねたもので、翌日の 3 月 14 日に ISMAB2024 打合せを行った。

参加者は、本学会から近藤 直氏、岡安崇史氏、KSAM から KIM Hak-Jin 氏、RYU Chanseok 氏、CIAM から CHEN Suming 氏、HUNG Huang-Youh 氏、ACABE から Desrial 氏の計 7 名であった。Desrial 氏から開催地バリ島のホテル情報や国際会議日程などの説明が行われた後、国際会議の開催方法について検討を行った。

8) 年次大会担当、プログラム専門委員会

(a) 2022 年度第 80 回年次大会

- ・委員会：対面会議，メール会議を随時実施した。
- ・講演プログラムの編成は年次大会・プログラム専門委員が行った。
- ・大会内容（2022 年 9 月 12 日（月）～14 日（水）オンライン実施）：講演発表（一般セッション 66 課題，オーガナイズドセッション 12 セッション，113 課題，部会による招待講演 2 件），特別講演会，理事会，評議員会，総会
- ・参加者 290 名であった。

(b) 農業環境工学関連学会 2023 年合同大会

- ・農業環境工学系学会連盟の「農業施設学会」を幹事学会として，組織委員会，大会実行委員会，プログラム委員会が，2023 年 2 月に組織された。
- ・当学会からは，組織委員として井上英二氏（会長），実行委員として田中史彦氏（九州大学），プログラム委員として岡安崇史氏（九州大学）が選任された。
- ・2023 年 3 月 28 日，合同大会のホームページが開設された。
- ・2023 年 4 月 7 日より，オーガナイズドセッションのテーマの募集を開始した（締切：5 月 22 日）。
- ・参加申込および研究発表申込開始は 5 月中旬より開始予定。

9) 産官学連携委員会

- ・2022 年度（令和 4 年度）開発賞候補を選考し，理事会の承認を経て次の通り決定した。

◇開発特別賞：

- 受賞製品・技術：「日本の転作を牽引する雑穀専用コンバインの開発」
- 受賞企業・団体：ヤンマーアグリ株式会社

◇開発賞：（50 音順）

- 受賞製品・技術：「業務用システム炊飯器 AR 5 シリーズの開発」
- 受賞企業・団体：井関農機株式会社

受賞製品・技術 : 「えだまめコンバイン EDC1100 の開発」

受賞企業・団体 : 株式会社クボタ

- ・第 27 回テクノフェスタにて、2022 年度開発賞受賞講演を、企画委員会と共同で開催した。

10) EAEF 誌編集委員会

- ・委員会：案件に応じてその都度メール会議（20 回程度）を行った。
- ・EAEF editors' meeting：案件に応じて韓国・台湾の EAEF 委員長と都度メール会議を行った。
- ・EAEF の第 14 巻第 2 号から第 4 号、第 15 巻第 1 号から第 4 号を J-STAGE で公開した。
- ・2022 年 11 月 16 日（水）に EAEF affairs meeting を開催し、EAEF 申し合せ改訂について審議した。
- ・農業施設学会の EAEF 誌参入について検討するとともに、韓国、台湾の各学会での検討を依頼した。
- ・JST のジャーナルコンサルティングを受け、投稿規程を全面改訂した。

11) 農業 IT 検討委員会

- ・委員会：1 回開催
第 1 回：2022 年 9 月 14 日（水）Zoom オンライン会議システム
- ・IT 総合戦略本部の立ち上げから廃止までにおいて収集した農業機械・施設関連の会議資料、成果報告書等をもとに、本委員会の経緯をまとめ、論説の形で学会誌に公表した。
- ・2022 年度テクノフェスタにおいて、自動運転分科会と合同で情報連携システム分科会を企画・運営した。

12) 法人化後運営委員会

- ・委員会：1 回開催
第 1 回：2022 年 9 月 14 日（水）オンライン
- ・理事会に提案した「役員承認時期と実質活動時期の齟齬」の解消策を確認した。
- ・学会運営に関わる次の事項について、意見交換した。
会員数の減少に対する対応、海外会員向けの情報提供、インボイス制への対応

13) 広報関係

1. 会費区分案につき下記の骨子で会費規程第 2 条の改定が行われた。

1) 正会員 9,000 円

- ・正会員 年会費 9,000 円
- ・正会員のうち、65 歳以上の者 4,500 円
- ・正会員のうち、65 歳以上、かつ、年齢と正会員歴（年数）の合計が 100 以上の者 0 円（無料）

*上記の年齢、正会員期間は、当該年度の 4 月 1 日時点。

2) 学生会員 3,000 円

- ・学生会員のうち、学部学生等の大学院に所属しない学生は、会費納入の義務を負わない。また、当該の学生会員には学会誌は送付されない。

2. 会費区分案の検討に際し、学会活動の概要を広報の視点から分析した。その結果は、2023 年 5 月号の論説として提出した。

8. 部会の活動

1) 農業機械部会

- ・運営委員会：メール会議を実施した。
- ・2022年度第27回テクノフェスタに農業機械部会として「農業機械および機械作業を支える新技術」と題する講演（3件）を企画し、2022年11月11日（金）オンラインで開催した。参加申込者は146名であった。
- ・農業機械部会とIT・メカトロニクス部会合同で「農業機械のデータ連携の将来像を考える」をテーマに2022年10月24日（月）にオンラインでシンポジウムを開催、基調講演と4件の話題提供および総合討論を行った。参加者は対面で29名、リモートで174名であった。
- ・2022年度農業機械部会セミナーを「地域で活躍する農業機械」と題して、2023年3月25日（土）にオンラインで開催、3件の講演と総合討論を行った。参加者は35名であった。

2) 食料・食品工学部会

- (1) 企画委員会の依頼により、FOOMA JAPAN 2022 国際食品工業展において農業食料工学会シンポジウム フードテクノロジー（フーテック）フォーラムを企画し、2022年6月10日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で「フードロス削減に向けた農産物・食品の品質・安全性の予測評価技術の最前線」を開催した。（参加者総数約250名）
- (2) 第80回農業食料工学会年次大会において、オーガナイズドセッション「ポストハーベスト工学のこれまでと今、そしてこれから（Postharvest Engineering: Achievements and Future Perspectives）」を開催した。
 - ・開催日：2022年9月13日（火）
 - ・オーガナイザー：小川幸春（千葉大学）、折笠貴寛（岩手大学）、田中史彦（九州大学）、小関成樹（北海道大学）、黒木信一郎（神戸大学）
 - ・講演件数：19件
- (3) 企画委員会の依頼により、第27回テクノフェスタフードチェーン分科会を企画し、2022年11月11日（金）にオンラインで「フードチェーン全体による米粒・米粉の品質・加工制御と用途拡大」を実施した。
- (4) 第6回食料・食品工学部会シンポジウムを企画し、2023年5月13日（土）に岐阜大学応用生物科学部で「ポストハーベスト技術の最前線—持続可能な食料供給体系の構築に向けて—」を実施した。（参加申し込み者数54名、2023年5月1日現在）
- (5) 運営委員会
 - 第1回運営委員会はメール審議（審議期間：2022年4月24日（日）～26日（火））とし、食料・食品工学部会の英語名称およびOSの協賛について審議した。
 - 第2回運営委員会はメール審議（審議期間：2022年6月13日（月）～17日（金））とし、フーテックフォーラム2023の企画案について審議した。
 - 第3回運営委員会はメール審議（審議期間：2022年6月21日（火）～24日（金））とし、第27回テクノフェスタ フードチェーン分科会の企画案について審議した。
 - 第4回運営委員会はメール審議（審議期間：2022年7月28日（木）～8月5日（金））とし、年次大会中の委員会の開催について審議した。
 - 第5回運営委員会はメール審議（審議期間：2022年11月14日（月）～11月16日（水））とし、

2023 年度フーテックフォーラム実施案について審議した。

第 6 回運営委員会はメール審議（審議期間：2023 年 1 月 5 日（木）～1 月 16 日（月））とし、第 6 回食料・食品工学部会シンポジウムの開催について審議した。

第 7 回運営委員会はメール審議（審議期間：2023 年 1 月 30 日（月）～2 月 1 日（水））とし、第 6 回食料・食品工学部会シンポジウムの日程について審議した。

第 8 回運営委員会はメール審議（審議期間：2023 年 2 月 8 日（水）～2 月 17 日（金））とし、第 6 回食料・食品工学部会シンポジウムの企画案について審議した。

第 9 回運営委員会は 2023 年 5 月 13 日に岐阜大学応用生物科学部において開催した。

3) IT・メカトロニクス部会

・運営委員会：1 回開催

第 1 回：2021 年 9 月 13 日 年次大会開催期間中にオンラインで開催した。

・合同大会において 2 つのオーガナイズドセッションを開催した。

・2022 年 11 月 11 日に、企画委員会の依頼により第 27 回テクノフェスタで自動運転分科会・情報連携システム分科会を企画，運営。テーマ「施設園芸における自動運転と IT の融合」。

・2022 年 10 月 24 日に農業機械部会と合同でシンポジウム「農業機械のデータ連携の将来像を考える」を開催した

・2023 年 3 月 18 日にセミナー「農業と AI，現在と未来」をオンラインにて開催した。関東農業食料工学会との共催。

4) 生物資源部会

・運営委員会をメール審議にて複数回開催した。

・生物資源部会での書籍出版に向け，メール審議や編集委員会を複数回開催した。書籍タイトル「農業・食料生産分野におけるバイオマス利用工学-循環型社会のための生物資源利用-」が 2023 年 4 月 20 日に発行された。

・第 27 回テクノフェスタで生物資源分科会の企画を行い，「分散型資源」×「生物資源利用」×「地産地消」をテーマに 3 つの発表が行われた。

・2022 年農業食料工学会年次大会において 2 件のオーガナイズドセッションを実施した。

OS-11：SDGs 達成に貢献する生物資源利用の国際的課題

OS-12：みどりの食料システム戦略に貢献するエネルギー・資源化およびシステム開発

9. 協賛・後援事業

A. 地区ブロック活動

1) 北海道ブロック

北海道ブロックのスリム化を含めた活動方針の議論を行い，全会員意見聴取を経て，今後の組織運営のあり方，活動の合理化等について合意を得た。2023 年度からの新体制において，新しい北海道ブロックの活動が開始される予定である。

2) 東北ブロック

・令和 4 年度農業食料工学会東北支部大会の開催

大会実行委員長 西村 洋 氏（秋田県立大学）

期日：8 月 23 日（火）～24 日（水）

場所：対面と Zoom によるハイブリッド開催

内容：研究発表会，講演会，総会，現地見学会

(1) 研究発表会 (44 名参加)

口頭発表 9 課題

(2) シンポジウム (55 名参加)

東北農業研究センターの冠 秀昭氏の司会で「大規模水田作での生産性向上に向けたスマート農業技術を活用した農業機械及び作業技術開発の現状と課題ースマート農業技術の汎用利用ー」をテーマとし、以下の話題提供をいただいた。

1) 岩手大学における農用自律走行車両開発への取り組み

岩手大学農学部 名誉教授 武田 純一 氏

2) 飼料畑におけるデータモデリング

北里大学獣医学部 名誉教授 田中 勝千 氏

3) 秋田版スマート農業モデル創出について

秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター 教授 西村 洋 氏

(3) 総会

議長 長坂 善禎 氏 (北里大学)

1) 令和 2 年度事業報告、決算及び監査報告、並びに令和 3 年度事業計画及び予算案の承認

2) ベストプレゼンテーション賞

ベスト発表賞 (1 件) :

大出 亜矢子, 他 1 名 (北里大学獣医学部)

「UAV による強害雑草の検知と雑草防除の省力化効果の検証」

学生奨励賞 (1 件) :

白川 夏穂, 他 4 名 (弘前大学大学院農学生命科学研究科)

「トマト栽培のための土壌水分の監視・制御 IoT システムの構築」

(4) 現地見学会

8 月 24 日 (水) に秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センターにて現地見学会が開催された。最初に、令和 3 年 4 月 1 日にスマート農業に関する教育と研究を主な役割として新たに設立された当該センターに関する概要説明があった。その後、参加者 23 名が二手に分かれ、一方は屋外でロボット農機 (トラクタ・田植機・コンバイン・農薬散布ドローン) の展示を見学し、もう一方はアグリデジタルツインのソフトウェアを用いた仮想空間における草刈機の操縦体験であった。

・幹事会

(1) 令和 4 年度第 1 回常任幹事会・第 1 回幹事会 (同時開催)

日 時: 令和 4 年 8 月 22 日 (月) 16:00~17:30

開催方式: 対面とオンラインのハイブリッド形式

開催場所: 対面: 秋田県立大学秋田キャンパス講堂, オンライン: Zoom

(2) 令和 4 年度第 2 回常任幹事会

日 時: 令和 4 年 3 月 22 日 (水) 17:00~18:00

開催方式: 対面とオンラインのハイブリッド形式

開催場所: 対面: 盛岡市内, オンライン: Zoom

・支部報第 69 号 (令和 4 年 12 月発刊)

研究報告 2 編

支部会記事 (庶務報告及び会計報告, 令和 4 年度研究発表会発表課題, 支部役員及び役員体制, 規約・規程等)

・若手の会 (新型コロナの影響により中止)

3) 関東ブロック

- ・第6回初学の会

開催日：2022年11月30日（水）

形式：オンライン開催

課題：「農作業安全の基礎（入門編）について」

講師：農研機構 農業機械研究部門 皆川 啓子 氏

参加者数：約20名

- ・2022年度 関東農業食料工学会年次大会

開催日：2022年12月17日（土）

会場：日本大学生物資源科学部

参加者数：35名

講演数：14件

ベストペーパー賞：「石塚 駿 氏（宇都宮大学）

～乗用トラクタの転倒予測に関する研究～」

- ・2022年度 関東農業食料工学会セミナー（IT・メカトロニクス部会と共催）

開催日：2022年3月4日（金）

形式：オンライン開催

テーマ：「農業とAI，現在と未来」

参加者数：55名

- ・関東農業食料工学会報発行

No. 156（7.15），No. 157（10.28），No. 158（1.20），No. 159（4.6）発行済

4) 関西ブロック

- ・第148回例会

期日：2022年9月22日（木）（オンライン形式）

内容：企画講演会，研究発表会 講演件数21件

学会賞各賞・学生ベストプレゼンテーション賞表彰

参加者数：72名

各賞受賞者：

学術賞 井原 一高氏（神戸大学大学院農学研究科 教授）

「畜産・食品バイオマスの循環利用に関する研究」

技術開発賞 万木 大氏・富永 浩太氏・廣瀬 修氏（株式会社インダ）

「高性能X線異物検査装置の開発」

学生ベストプレゼン賞

小西 修平氏（京都大学）

「農道走行における三次元地図の作成とLiDARを用いた自己位置推定」

櫻井 洸太氏（京都大学）

「UAV写真測量法を用いたイネ草高推定における撮影角度が推定精度に及ぼす影響」

宇井 智哉氏（京都大学）

「赤系リーフレタスにおける赤青同時/交互光照射とアントシアニン，赤色葉面積の関係」

中西龍太郎君（三重大大学）

「柑橘果実収穫ロボットのための環境認識とロボットアーム制御」

- ・2022年度第1回幹事会

期日：2022年9月9日（金）～9月22日（木），幹事メーリングリストにてメール審議

・第149回例会

期日：2023年3月7日（火） 京都大学農学部（対面形式）

内容：研究発表会 講演件数57件，学生ベストプレゼンテーション賞表彰

参加者数：86名

各賞受賞者：

学生ベストプレゼン賞

上野和隆（神戸大学）

「バイオ炭の添加が嫌気性消化におけるアンモニア阻害の克服に及ぼす効果」

松尾直樹（三重大学），

「心拍及び脳波を用いた農作業者の暑熱ストレス推定システムの開発」

井ノ下胤仁（三重大学）

「柑橘栽培収穫ロボット制御のための樹体と作業空間認識」

山岡桃子（三重大学）

「スマート設備状態監視・診断システムに関する研究—ベジアンネットワークと
MatrixFlowによる低速回転機械の異常診断と感度評価—」

森末菜美（神戸大学）

「サフランの子球肥大に関するトランスクリプトーム解析—光量の影響—」

安原晃弘（京都大学）

「ミリ波照射によるアクチン伸長効果の機序解明に向けた評価系の検討」

・2022年度第2回幹事会

期日：2023年3月2日（木），オンラインで開催

・会報第132号発行：2022年6月1日

・会報第133号発行：2023年2月1日

5) 九州ブロック

・令和4年度幹事会

期日：令和4年10月18日（火）9：30～11：30

場所：Zoomによるネット開催

出席者：19名

議事：令和3年度事業報告・決算報告・会計監査報告，令和4年度活動報告，（一社）農業食料工学会各種委員会報告，令和5年度事業計画案・予算案，学会賞授与について審議・承認
その他，メール幹事会を随時開催し，名誉会員推薦4名，例会日程，後援依頼3件，国際ワークショップ・意見交換会開催，運営細則改正，次年度以降の開催地・方式についての審議・承認

・第76回例会

期日：令和4年10月19日（水）～20日（木）

場所：Zoomによるネット開催

内容：【研究発表会】口頭発表：18件，ポスター発表：10件（参加者63名）

【総会】事業報告，決算報告，会計監査報告，事業計画案，予算案について審議・承認

【特別講演会】「オンライン教材で変わる大学教育と社会連携の強化～ポストコロナの教育は楽しくなる！～」

・九州農業食料工学会誌第72号刊行

発行日：令和4年10月18日（火）

・令和4年度表彰

学会賞：「農産食品の品質評価に関する研究」（田中宗浩氏・佐賀大学農学部）

優秀講演賞：4名

（口頭発表セッション）

最優秀賞

竹内菜恵（福岡農林試資源セ）

受賞業績「小口輸送に適したブドウ、イチジクおよびカキのパッケージ技術」

Best presentation award（International session）

Xirui Yan（九大院生資環）

受賞業績「Optimization of Cross-linked Chitosan Coating Formulations for improving the Quality of Pears during Storage」

（ポスターセッション）

最優秀賞（同点、2名）

大塚望実（九州大農）

受賞業績「子実用トウモロコシ収穫時に汎用コンバインのこぎ胴カバーに生じる歪みの傾向」

最優秀賞

古閑亜里沙（九州大院生資環）

受賞業績「抗菌成分ヒノキチオール添加ゼラチンベースコーティングの処理方法がカキの品質に及ぼす影響」

・学生アイデアコンテスト

期日：令和4年10月20日（木）

場所：Zoomによるネット開催

発表：3件

表彰：令和4年10月28日（金） 於 九州大学

最優秀賞

突田彩希・大塚望実・平山祐多

受賞発表「五大学対抗！歩行用耕うん機の新機能設計コンペティション」

特別会員賞（ホーリー・アンド・カンパニー（株）賞）

加藤 豊大（九州大農）

受賞発表「小学校生活の授業での野菜栽培×プログラミングの提案」

・学生強化合宿（研修）

期日：令和4年11月26日（土）・27日（日）

場所：Zoomによるネット開催

内容：卒論研究の内容と進捗状況の発表と検討

発表：27件（九州大学、佐賀大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学）

B. セミナー・学会等

1) 第140回ロボット工学セミナー

主催：（一社）日本ロボット学会

2022年5月10日 オンライン開催

2) 2022年春季フルードパワーシステム講演会および併設セミナー

主催：（一社）日本フルードパワーシステム学会

2022年5月26日～27日 オンライン開催

3) 美味技術学会2022年度シンポジウム

- 主催：美味技術学会
2022 年 6 月 9 日 東京ビッグサイト（東京都江東区）
- 4) 2022 生態工学会年次大会
主催：生態工学会
2022 年 6 月 24 日～25 日 東京農工大学府中キャンパス（東京都府中市）
- 5) 日本機械学会関西支部 第 380 回講習会
主催：（一社）日本機械学会関西支部
2022 年 7 月 26 日～27 日 オンライン開催
- 6) 太陽光発電部会第 34 回セミナー
主催：（一社）日本太陽エネルギー学会
2022 年 8 月 2 日 オンライン開催
- 7) 第 141 回ロボット工学セミナー
主催：（一社）日本ロボット学会
2022 年 8 月 12 日 オンライン開催
- 8) Dynamics and Design Conference 2022
主催：（一社）日本機械学会
2022 年 9 月 5 日～8 日 秋田県立大学 本荘キャンパス（秋田県由利本荘市）
- 9) 第 40 回日本ロボット学会学術講演会
主催：（一社）日本ロボット学会
2022 年 9 月 5 日～9 日 東京大学 本郷キャンパス（東京都文京区）
- 10) 第 142 回ロボット工学セミナー
主催：（一社）日本ロボット学会
2022 年 9 月 10 日～11 日 オンライン開催
- 11) 特別講演会 安全入門ゼミナール 2022 年度 基礎編
主催：（一社）日本機械学会
2022 年 9 月 14 日 オンライン開催
- 12) 第 38 回 ファジィ システム シンポジウム (FSS2022)
主催：日本知能情報ファジィ学会
2022 年 9 月 14 日～16 日 東京都立産業技術大学院大学/高等専門学校（東京都品川区）
- 13) 第 12 回農業 Week
主催：農業 week 事務局
2022 年 10 月 12 日～14 日 幕張メッセ（千葉県千葉市）
- 14) 第 41 回 農薬製剤・施用法シンポジウム
主催：日本農薬学会
2022 年 10 月 14 日 オンライン開催
- 15) 第 143 回ロボット工学セミナー
主催：（一社）日本ロボット学会
2022 年 10 月 20 日 東京大学 本郷地区 浅野キャンパス（東京都文京区）
- 16) 第 43 回日本熱物性シンポジウム
主催：日本熱物性学会
2022 年 10 月 25 日～27 日 オンライン開催
- 17) 2022 年秋季フルードパワーシステム講演会
主催：（一社）日本フルードパワーシステム学会
2022 年 11 月 10 日～11 日 海峡メッセ下関（山口県下関市）

- 18) 第 38 回近赤外フォーラム
主催：近赤外研究会
2022 年 11 月 15 日～17 日 東京大学弥生講堂 (東京都文京区)
- 19) 第 144 回ロボット工学セミナー
主催：(一社) 日本ロボット学会
2022 年 11 月 18 日 京都大学東京オフィス (東京都千代田区)
- 20) 公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2022」
主催：日本学術会議農学委員会・食料科学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会
2022 年 11 月 19 日 双葉町産業交流センター (福島県双葉郡双葉町)
- 21) 第 38 回近赤外フォーラム
主催：近赤外研究会
2022 年 11 月 15 日～17 日 東京大学弥生講堂 (東京都文京区)
- 22) Joint 12th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 23rd International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2022)
主催：日本知能情報ファジィ学会
2022 年 11 月 29 日～12 月 2 日 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 (三重県伊勢市)
- 23) 第 145 回ロボット工学セミナー
主催：(一社) 日本ロボット学会
2022 年 12 月 12 日 オンライン開催
- 24) 第 23 回 SICE システムインテグレーション部門講演会
主催：(公社) 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門
2022 年 12 月 14 日～16 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
- 25) 2022 年度オータムセミナー
主催：(一社) 日本フルードパワーシステム学会
2022 年 12 月 15 日 オンライン開催
- 26) 第 2 期 SIP「知能化農機」の実演・シンポジウム 2022
主催：SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」スマートフードチェーンコンソーシアム
2022 年 12 月 15 日 農研機構農機研附属農場, クレア鴻巣 (埼玉県鴻巣市)
- 27) 第 31 回微粒化シンポジウム
主催：日本液体微粒化学会
2022 年 12 月 15 日～16 日 日本大学生産工学部津田沼キャンパス (千葉県習志野市)
- 28) 第 384 回講習会
主催：(一社) 日本機械学会関西支部
2023 年 1 月 24 日～25 日 オンライン開催
- 29) 2022 年度ウィンターセミナー
主催：(一社) 日本フルードパワーシステム学会
2023 年 3 月 7 日 オンライン開催

10. 関連学会等

1) 日本学術会議

協力学術研究団体として日本学術会議の活動に協力した。本会会員からは第 25 期 (2020 年 10 月～2023 年 9 月) の連携会員に飯田訓久氏, 梅田幹雄氏, 岸田義典氏, 澁澤 栄氏, 高橋憲子氏, 野口伸氏, 橋口公一氏, 安永円理子氏が任命され, その任に当たった。

2) 日本農学会

代表として井上英二氏が、運営委員として五月女格氏がそれぞれの任に当たった。

第6回(2023年度)総会および日本農学賞選考会

日時：総会 2023年2月11日(土 祝日) 10時～12時, 17時～17時30分頃

選考会 2023年2月11日(土 祝日) 13時～16時35分

場所：Zoom オンライン会議 (出席者：井上英二氏(代表者), 芋生憲司氏(選考会出席者))

2023年度(第94回)日本農学大会

日時：2023年4月5日(火) 13:30～16:30

場所：東京大学 農学部 弥生講堂, オンライン配信 (Zoom ウェビナー)

3) 日本農業工学会

理事として井上英二氏がその任に当たった。また、今期(任期：2022年5月～2024年5月)の正会員代議員として芋生憲司氏、澁澤栄氏がその任に当たり、同じく今期の国際会員代議員として酒井憲司氏がその任に当たった。

2023年度日本農業工学会第39回総会, 日本農業工学会賞・フェロー受賞式, 日本農業工学会賞受賞記念講演会

日時：2023年5月13日(土) 13:00～16:40

場所：東京大学 中島ホール(フードサイエンス棟) 及びオンライン会議 (Zoom ミーティング)

4) 農業環境工学系学会連盟

委員として井上英二氏が、幹事として芋生憲司氏がそれぞれの任に当たった。

「農業環境工学関連学会 2023年合同大会(2023年9月4日～9月8日, 筑波大学及びつくば国際会議場)が「農業施設学会」を幹事学会として計画され, 大会組織委員会, 大会実行委員会及びプログラム委員会が加盟学会の協力の下で組織された。その後同大会の開催に向けて準備が進められた。

5) AABEA(EAEF, ISMAB)

AABEA(Asian Agricultural and Biological Engineering Association)および英文誌 EAEF(Engineeing in Agriculture, Environmental and Food), ならびに ISMAB(International Symposium on Machinery and Mechatronics for Agriculture and Biosystems Engineering)に係る, CIAM(Chinese Institute of Agricultural Machinery), KSAM(Korean Society for Agricultural Machinery)との協議には, 下記の各氏がその任に当たった。

AABEA-JSAM 委員会：井上英二氏, 近藤 直氏, 飯田訓久氏, 西津貴久氏, 松井正実氏

ISMAB-JSAM 委員会：井上英二氏, 近藤 直氏, 芋生憲司氏, 岡安崇史氏, 田中史彦氏

11. 業務監査

・2023年3月に, 監事による業務監査が行われ, その結果, 監事より下記の報告があった。

1. 委員会等の業務活動状況

委員会等ではそれぞれ活動目標を掲げて活動をおこなった。業務活動内容とその進展度(自己評価, 目標に対する進展度)において, 「予定以上」とする委員会等はゼロであったが, 近年のコロナ禍においても19すべて委員会等が「予定どおり」であったことは評価に値する。なお, 広報事業においては“予定どおり”との自己評価はなかったものの, 目標に対する活動内容を勘案して判断した。

2. 委員会等の会議と参加率

委員会等では必要に応じて独自に会議などを行っている。会議は参集しての対面会議, オンラインでの

開催，メールでの協議等がある。委員会への委員の参加率は多くの場合「高い」（15 委員会等），1 委員会が「非常に高い」，3 委員会等において「普通」との回答であった。定着した委員会等のオンライン化により参加率が上がっている一方で，新型コロナの「5 類」移行方針に鑑みて必要に応じて対面での活動も望まれるところである。

3. 学会からの予算配分

学会活動は，基本的に会員のボランティア的活動により運営される。委員会等では年間の活動計画に基づき活動費（予算）が学会から配分される。委員会等により予算配分は0 円から 40 万円と大きな開きがあるが，全委員会において予算金額が「適切」と評価している。なお，今期の広報事業において予算配分は無かったが，来期以降必要に応じて考慮する必要があるだろう。

4. 学会活動に対する提案意見

コロナ禍において活動してきた委員会等から，今後の学会活動に対する貴重な提案や意見が多く寄せられた。全体を俯瞰すると，コロナ禍により各種の制約があったもののオンラインの活用により活動を行うことができた。今後ともオンラインを積極的に活用すべきである，という提案は少なくない。さらに，対面での交流や情報交換も重要であり，対面，或いはオンライン併用のハイブリッド型の会議やセミナー・シンポジウム開催が望まれるとの意見もあった。また，2013 年に臨時に設置された「農業 IT 検討委員会」については，当委員会から設置当初の趣旨に基づく活動の必要性低下により，今期をもって一旦閉じるべきとの意見が示されている。一方，広報においては，委員会を設置して事業推進することに効果が期待できるとされる。双方の活動に対する提案或いは意向を精査・協議する必要があるだろう。

5. 総括

コロナ禍になってから当学会の理事会ほか各種イベント・会議もオンラインで開催されてきた。オンライン開催による事務簡素化とコスト低減効果は大きい。一方で，学会活動に限った話ではないが，懇親会や対面会議後の立ち話等で有益な情報交換ができる場面も少なくない等，対面コミュニケーションのメリットは信頼関係の構築がし易い側面がある。

日本では本年 1 月，コロナの感染症法上の位置付けについて，5 月から季節性インフルエンザと同じ「5 類」に引き下げることが決まった。コロナ禍の象徴として社会生活に広く浸透したマスク習慣は，変化の節目を迎えつつある。そうした状況下で，上記バランスを踏まえて会議の開催方法が検討されるのであろう。

当学会は，一般社団法人農業食料工学会となって早 4 年が経過した。法人化を学会活動の大きな飛躍につなげるためにも，実効性のある運営なりアウトリーチ活動を通じてプレゼンスの向上を図る必要がある。また，時代の要請や趨勢に応じて臨機応変に活動推進或いは対応し，法人として国のプロジェクトに参加するなどの社会貢献を積極的に行うことが強く望まれる。

表１ 正会員数の地区別内訳

2023（令和5）年5月10日現在

【北海道ブロック】					
北海道	60 名	新 潟	12 名	岡 山	4 名
小計	60 名	富 山	0	広 島	23
【東北ブロック】		山 梨	0	徳 島	1
青 森	9 名	長 野	9	香 川	1
岩 手	15	静 岡	10	愛 媛	33
宮 城	4	小計	239 名	高 知	2
秋 田	4	【関西ブロック】		小計	254 名
山 形	3	石 川	4 名	【九州ブロック】	
福 島	7	福 井	2	山 口	1 名
小計	42 名	岐 阜	4	福 岡	14
【関東ブロック】		愛 知	3	佐 賀	4
茨 城	60 名	三 重	10	長 崎	1
栃 木	9	滋 賀	65	熊 本	5
群 馬	1	京 都	13	大 分	2
埼 玉	65	大 阪	51	宮 崎	7
千 葉	11	兵 庫	16	鹿 児 島	9
東 京	53	奈 良	5	沖 縄	7
神奈川	9	和歌山	1	小計	50 名
		鳥 取	3	【国内計】	645 名
		島 根	13	【国外】	6 名
				正会員総数	651 名

※正会員＋学生会員＋名誉会員＋永年会員 843 名 海外会員 40 名

表２ 会員数の資格別内訳とその推移

年次	会員 総数	対前 年差	名誉	永年	正	学生	海外	特別	購読	備 考
2009	1,222	-47	13	46	897	145	－	39	82	各年3月時
2010	1,172	-50	13	49	856	136	－	39	79	
2011	1,187	+15	16	49	843	161	－	39	79	
2012	1,138	-49	17	53	809	147	－	38	74	
2013	1,150	+12	19	57	818	149	－	38	69	
2014	1,132	-18	21	60	811	135	－	39	66	
2015	1,116	-16	22	64	786	141	－	39	64	
2016	1,119	+3	20	66	790	141	－	42	60	
2017	1,109	-10	19	69	778	140	－	42	61	
2018	1,118	+9	19	69	775	153	－	43	59	
2019	1,076	-42	19	72	764	123	－	42	56	2019年5月時/法人設立
2020	1,051	-25	17	80	744	112	2	43	53	2020年5月時
2021	1,002	-49	18	79	677	100	36	41	51	2021年5月時
2022	990	-12	20	82	666	98	39	39	46	2022年5月時
2023	967*		19	75	651	98	40	38	46	2023年5月10日現在

*グループ会員：453名（正会員367名，学生会員86名）

表3 農業食料工学会誌第84巻第1号～第85巻第1号の構成

掲載内容		84 巻								85 巻	83 巻
		1 号	2 号	3 号	4 号	5 号	6 号	合計	平均	1 号	平均
論 説	頁数	2	2	2	2	2	2	12	2.0	2	2.0
研究論文	件数	0	0	3	4	2	1	10	1.7	0	2.5
	頁数	－	－	31	39	18	8	96	16.0	－	22.5
技術論文	件数	3	0	2	0	3	0	8	1.3	1	1.2
	頁数	26	－	13	－	22	－	61	10.2	10	10.8
速 報	件数	0	2	0	1	0	0	3	0.5	0	1.3
	頁数	－	6	－	2	－	－	8	1.3	－	3.5
資 料	件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	頁数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
レビュー	件数	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	頁数	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－
文献紹介	件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	頁数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
特 集	件数	5	4	3	3	4	9	28	4.7	3	4.2
	頁数	24	18	18	21	19	52	152	25.3	14	19.2
テクノピックス	件数	1	1	1	1	1	1	6	1.0	1	1.0
	頁数	3	3	2	3	3	2	16	2.7	2	3.0
解 説	件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	頁数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
研究紹介	件数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	頁数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
特別会員コーナー	頁数	3	3	3	3	3	3	18	3.0	3	3.0
支部コーナー	頁数		5	1	－	1	1	8	2.0	4	1.2
部会コーナー	頁数	1	1	1	－	－	1	4	0.7	1	2.0
委員会コーナー	頁数	－	－	－	－	－	－	0	0.0	－	－
会 告	頁数	37	6	11	11	5	6	76	12.7	37	12.2
ニュース・声	頁数	5	6	1	6	39	5	62	10.3	6	7.5
目次・広告・その他	頁数	13	12	13	13	5	16	72	12.0	12	19.5
総 頁 数											105.3

頁数の平均は0頁を除いた平均で示した。

- 特 集 (84-1) 2021 年度 農業食料工学会開発賞の概要
 (84-2) 我が国における最近の ISOBUS の情勢
 (84-3) Vision ZERO Summit 2022 Japan に向けて
 (84-4) スマート化する社会における労働安全
 (84-5) 農業機械・施設を対象としたデータ連携の推進と環境整備に関する取り組み
 (84-6) 農業・食品機械の歩み 2022
 (85-1) 2022 年度 農業食料工学会開発賞の概要
- その他 (84-6) 受賞論文梗概（学術賞・森技術賞・研究奨励賞・技術奨励賞・論文賞(研究論文・技術論文)）
 (84-6) 農業食料工学会誌第84巻総目次

Ⅱ 2022 年度 決算報告 [4 号議案]

表 4 2022 年度 決算（一般会計）

期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

（その 1） 収入の部

単位：円

項 目	予算額	決算額	決算/予算 比率（%）
1. 繰越金	7,074,620	7,074,620	100.0
2. 会費	9,532,700	9,101,950	95.5
（内訳） a. 特別会員	2,750,000	2,700,000	98.2
b. 正会員	5,804,100	5,502,750	94.8
c. 学生会員	352,600	329,200	93.4
d. 海外会員	74,000	6,000	8.1
e. 購読会員	552,000	564,000	102.2
3. 出版物収入	310,000	326,511	105.3
（内訳） a. 学会誌売上	150,000	182,500	121.7
b. 講演要旨	0	7,000	—
c. 刊行物収入	10,000	0	0.0
d. 著作権収入	150,000	137,011	91.3
4. 大会参加費	1,340,000	1,417,000	105.7
5. 広告収入	2,500,000	2,339,500	93.6
6. 掲載論文関係費	2,700,000	1,513,792	56.1
（内訳） a. 別刷り	1,000,000	697,500	69.8
b. 超過等負担金	1,700,000	816,292	48.0
7. 預金利息	50	40	80.0
8. 雑収入	0	147,652	—
9. 立替金戻り	0	232,640	—
合 計	23,457,370	22,153,705	94.4

(その2) 支出の部

単位：円

項 目	予算額	決算額	決算/予算 比率 (%)
1. 会議費	50,000	26,963	53.9
2. 事務費	7,080,000	7,230,121	102.1
(内訳) a. 消耗品	250,000	235,879	94.4
b. 通信費	700,000	729,001	104.1
c. 旅費・交通費	200,000	181,496	90.7
d. 給与・賃金・法定福利費	5,350,000	5,351,591	100.0
e. 事務所経費	220,000	345,540	157.1
f. OA 機器整備費	160,000	203,269	127.0
g. 法人管理費	200,000	183,345	91.7
3. 事業費	9,825,000	8,430,084	85.8
(内訳) a. ブロック補助費	600,000	600,000	100.0
b. 学会誌発行費	5,970,000	5,293,226	88.7
(内訳) イ. 編集費	650,000	677,631	104.3
ロ. 印刷費	4,200,000	3,798,405	90.4
ハ. 発送費	620,000	583,440	94.1
ニ. 別刷印刷費	300,000	233,750	77.9
ホ. J-STAGE 掲載費	200,000	0	0.0
c. 大会費	1,350,000	1,151,431	85.3
(内訳) イ. 大会開催費	1,250,000	1,151,431	92.1
ロ. 要旨等制作費	100,000	0	0.0
d. 委員会等費	155,000	120,679	77.9
e. 部会運営費	160,000	40,000	25.0
f. 幹事活動費	340,000	340,000	100.0
g. 学会賞費	250,000	333,306	133.3
h. 若手支援費	400,000	347,400	86.9
i. 国際活動支援費	400,000	50,000	12.5
j. 役員選挙費	200,000	154,042	77.0
4. 負担金	290,000	259,933	89.6
5. 雑費	30,000	10,440	34.8
6. 予備費	0	809,344	—
7. 立替金	0	232,640	—
8. 次年度繰越金	6,182,370	5,154,180	83.4
合 計	23,457,370	22,153,705	94.4

注記：上記の資金の範囲には現金と預金を含みます。

表5 貸借対照表（一般会計）
(2023年3月31日)

単位:円

資産の部		正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	66,456	次年度繰越金	5,148,180
郵便振替	2,837,706		
銀行預金（普通口座）	2,244,018		
合 計	5,148,180	合 計	5,148,180

注記：上記の資金の範囲には現金と預金を含みます。

表6 収支計算書（特別会計）

期間：2022年4月1日～2023年3月31日

（その1）基本金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	予算	決算	項 目	予算	決算
前年度繰越金	24,912,545	24,912,345	引 出	0	0
(内訳) 定期預金	24,130,028	24,130,028	手数料等	0	0
普通預金	782,517	782,317	次年度繰越金	24,913,745	24,912,674
積立金	0	0	(内訳) 定期預金	24,130,028	24,130,132
預金利息	1,200	329	普通預金	783,717	782,542
合 計	24,913,745	24,912,674	合 計	24,913,745	24,912,674

銀行預金内訳： 三井住友信託銀行：10,191,703 円（定期：10,000,000 円＋普通：191,703 円）
 三菱UFJ 銀行： 6,539,333 円（定期： 6,130,132 円＋普通：409,201 円）
 川口信用金庫： 8,181,638 円（定期： 8,000,000 円＋普通：181,638 円）

（その2）森基金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	予算	決算	項 目	予算額	決算
前年度繰越金	1,260,006	1,260,006	引 出	0	0
(内訳) 定期預金	1,260,006	1,260,006	賞品・選考費	0	0
普通預金	0	0	次年度繰越金	1,260,016	1,260,028
積立金	0	0	(内訳) 定期預金	1,260,006	1,260,028
預金利息	10	22	普通預金	10	0
合 計	1,260,016	1,260,028	合 計	12,260,016	1,260,028

銀行預金内訳： 三菱UFJ 銀行：1,260,028 円（定期：1,260,028 円＋普通：0 円）

（その3）岸田国際学術奨励基金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	予算	決算	項 目	予算	決算
前年度繰越金	1,418,201	1,418,201	賞品・選考費	0	0
(内訳) 定期預金	1,000,021	1,000,021	手数料等	0	0
普通預金	418,180	418,180	次年度繰越金	1,418,221	1,418,222
積立金	0	0	(内訳) 定期預金	1,000,021	1,000,021
預金利息	20	21	普通預金	418,200	418,201
合 計	1,418,221	1,418,222	合 計	1,418,221	1,418,222

銀行預金内訳： みずほ銀行：1,418,222 円（定期：1,000,021 円＋普通：418,201 円）

（その4）学術活動基金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	予算	決算	項 目	予算	決算
前年度繰越金	2,425,635	2,425,635	準備金（シンポジウム等）	1,200,000	600,000
(内訳) 定期預金	2,000,000	2,000,000	CIG R 準備金	0	0
普通預金	425,635	425,635	手数料等	5,000	2,750
CIG R 返納金	0	2,400,000	会議費（シンポジウム等）	2,650,000	1,686,800
預金利息	250	8	旅費・謝金（税込）	350,000	327,512
テクノフェスタ参加費・広告料	200,000	898,949	次年度繰越金	1,720,885	3,307,504
農機 API 事業費	3,000,000	0	(内訳) 定期預金	1,000,000	0
返納金（シンポジウム等）	300,000	199,974	普通預金	720,885	3,307,504
雑収入	0	0			
合 計	5,925,885	5,924,566	合 計	5,925,885	5,924,566

銀行預金内訳： ゆうちょ銀行：3,307,504 円（定期： 0 円＋普通：3,307,504 円）

注記：上記の資金の範囲には現金と預金を含みます。

表 7 総合貸借対照表

(2023 年 3 月 31 日)

単位：円

資産の部		正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【一般会計】		【一般会計】	
現金預金	5,148,180	次年度繰越金	5,148,180
（内訳）現 金	66,456		
郵便振替	2,837,706		
銀行預金（普通口座）	2,244,018		
【特別会計】		【特別会計】	
預金（基本金）	24,912,674	次年度繰越金（基本金）	24,912,674
（内訳）三井住友信託銀行	10,191,703	次年度繰越金（森基金）	1,260,028
三菱UFJ 銀行	6,539,333	次年度繰越金（岸田国際学術奨励基金）	1,418,222
川口信用金庫	8,181,638	次年度繰越金（学術活動基金）	3,307,504
預金（森基金）	1,260,028		
（内訳）三菱UFJ 銀行	1,260,028		
預金（岸田国際学術奨励基金）	1,418,222		
（内訳）みずほ銀行	1,418,222		
預金（学術活動基金）	3,307,504		
（内訳）ゆうちょ銀行	3,307,504		
資産合計	36,046,608	正味財産合計	36,046,608

注記：上記表中の資金の範囲には現金と預金を含みます。

監査の結果、適正と認めます。

2023（令和 5）年 4 月 26 日

一般社団法人 農業食料工学会 監事

八谷 浩

一般社団法人 農業食料工学会 監事

貝沼 秀夫

V 2023 年度事業計画（案） [5号議案]

1. 2023 年度定時総会：
期日：2023 年 6 月 24 日（土）
場所：学会事務局ならびに Zoom による Web 会議
2. 会員集会及び学会賞表彰式：
期日：2023 年 9 月 5 日（火）
場所：つくば国際会議場
3. 農業環境工学関連学会 2023 年合同大会：
期日：2023 年 9 月 4 日（月）～ 8 日（金）
場所：つくば国際会議場
4. 理事会を次の日程で開催する。
6 回程度開催予定
第 1 回：2023 年 5 月 20 日（土）
第 2 回：2023 年 6 月
第 3 回：2023 年 9 月
第 4 回：2023 年 10 月
第 5 回：2023 年 12 月
第 6 回：2024 年 1 月
5. 委員会の活動
 - 1) 庶務委員会
 - ・委員会：必要に応じて開催予定
 - ・総会、理事会（6 回程度開催予定）に係わる業務、文書の接受及び施行、規程等の整備、業務の調整などを行う。
 - 2) 財務委員会
 - ・委員会：必要に応じて開催予定。
 - ・2023 年度決算及び 2024 年度予算に係わる業務などを行う。
 - 3) 編集委員会
 - ・合同編集委員会：年次大会の際に開催予定
 - ・情報誌担当小委員会：随時、メール・電話にて会議を行う予定
 - ・論文誌担当小委員会：随時、メール・電話にて会議を行う予定
 - ・学会誌の編集・発行：第 85 巻第 3 号～第 86 巻第 2 号
 - ・第 15 回（2023 年）論文賞の受賞候補を選考し決定する。
 - ・既に発行した学会誌（発行後 1 年を経過したもの）の J-STAGE における公開を継続する。
 - 4) 企画委員会
 - ・委員会：3 回程度開催予定

- ・シンポジウム：2回開催予定

① フードテクノロジー（フーテック）フォーラム 2023

テーマ：『みどりの食料システム戦略 ―環境にやさしく健康寿命延伸に資するフードテックのこれから―』

日時：2023年6月9日（金）10：20～15：35

場所：東京ビッグサイト会議棟 6階「605+606」

② 第28回テクノフェスタ

テーマ：未定

日時：2023年11月（予定）

場所：農研機構 農業機械研究部門

5) 表彰委員会

- ・委員会：必要に応じてメール会議を開催する
- ・2022年度（令和4年度）学会賞授与
学術賞2件，森技術賞1件，研究奨励賞1件，技術奨励賞1件，
功績賞2件（個人1名，特別会員1件）
- ・2024年度日本農学賞，農学進歩賞の候補者の選考
2023年3月末推薦締め切り，農学賞1件，農学進歩賞は推薦なし
- ・2023年度日本農業工学会賞の候補者の選考予定
2023年7月末推薦締め切り
- ・2023年度学会賞選考予定
2023年8月末推薦締め切り

6) 情報委員会

- ・委員会：1回程度開催予定の他，メール会議を必要に応じて開催
- ・メーリングリストによる会員向け情報の配信
- ・本部学会および各支部Webサイトの適宜更新と管理
- ・海外会員向けページの情報拡充
- ・Webサイトの情報拡充とセキュリティ対策の検討

7) 国際交流委員会

- ・委員会：1回程度開催予定，その他グループウェアを用いた会議を必要に応じて開催予定
- ・若手研究者海外学会発表支援事業
若手研究者海外学会発表支援事業の名称は「Travel Award」への改名を検討する。
- ・若手海外研究者招聘事業

8) 年次大会担当，プログラム専門委員会

(a) 農業環境工学関連学会 2023年合同大会

- ・大会組織委員会，大会実行委員会及びプログラム委員会の下で大会の準備，運営等を行う。
- ・大会内容：研究発表（口頭発表・ポスター発表），合同シンポジウム，各種研究部会（農業環境工学系学会連盟加盟各学会），情報交換会

9) 産官学連携委員会

- ・委員会：年に2回程度開催予定

- ・2023 年度（令和 5 年度）開発賞の公募を行う（2023 年 4 月）。
- ・2023 年度（令和 5 年度）開発賞応募テーマについて、審査員へ審査を依頼する（2023 年 4 月）。
- ・2023 年度（令和 5 年度）審査結果から開発賞受賞候補を選考し決定する（2023 年 6 月）。
- ・2023 年度（令和 5 年度）開発賞受賞講演の開催対応を行う（2023 年 7 月～2023 年 12 月）。
- ・2023 年度（令和 5 年度）開発賞の公募を行う（2024 年 1 月）。

10) EAEF 誌編集委員会

- ・委員会：2 回程度開催予定
- ・EAEF 第 16 巻 1 号から第 17 巻 1 号までを発行する。

6. 部会の活動

1) 農業機械部会

- ・運営委員会：必要に応じてメール会議を開催する。
- ・シンポジウム、または、セミナー等を企画し、開催する。
- ・その他の部会活動について検討する。

2) 食料・食品工学部会

- ・運営委員会は、シンポジウムまたは年次大会時に開催するとともに、必要に応じてメール会議またはオンラインで開催する。

・企画委員会の依頼により、FOOMA JAPAN 2023 国際食品工業展において農業食料工学会シンポジウムフードテクノロジー（フーテック）フォーラム「みどりの食料システム戦略 ― 環境にやさしく健康寿命延伸に資するフードテックのこれから ―」を企画し、2023 年 6 月 9 日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催する。

- ・部会に関連するその他の活動を支援する。

3) IT・メカトロニクス部会

- ・運営委員会：2 回程度開催予定
- ・年次大会でのオーガナイズドセッションの企画
- ・テクノフェスタの企画協力 自動運転分科会の企画・運営
- ・セミナーの開催

4) 生物資源部会

- ・運営委員会：2 回程度開催予定
- ・2023 年農業食料工学会年次大会においてオーガナイズドセッションを実施する予定
- ・テクノフェスタの企画協力
- ・セミナーやシンポジウム開催を含む部会の活動を検討する
- ・その他部会に関連する活動の支援を検討する

7. 協賛・後援事業

A. 地区ブロック活動

1) 北海道ブロック

- ・北海道農業機械学会フォーラム

9 月開催予定（開催日時未定）

正会員の企業を中心に各社開発部門の取組みと課題を共有する発表会およびワークショップなどを検討中

- ・後援事業

令和 5 年 5 月 25 日 日独スマート農業シンポジウム

主催 在日ドイツ商工会議所

後援 一般社団法人北海道農業機械工業会

2) 東北ブロック

- ・令和 5 年度（2023）農業食料工学会東北支部大会

期日：2023 年 8 月 21 日～22 日（予定）

場所：青森県（詳細未定）

内容：総会，研究発表会，シンポジウム，現地見学会（対面開催の予定）

- ・幹事会

常任幹事会：2 回，幹事会：1 回

- ・東北若手の会

2023 年 8 月（予定）

- ・支部報の刊行 第 70 号 2023 年 12 月

3) 関東ブロック

- ・2023 年度 関東農業食料工学会年次大会

開催予定（期日未定）

- ・2023 年 度関東農業食料工学会セミナー

開催予定（期日未定）

- ・第 7 回 初学の会

開催予定（期日未定）

- ・関東農業食料工学会報

No. 160～163 発行予定

4) 関西ブロック

- ・第 150 回例会

期日：2023 年 9 月 26 日に岡山市にて開催予定（対面形式）

内容：企画講演会，学会賞表彰，研究発表会等

- ・2023 年度第 1 回幹事会

期日：2023 年 9 月 26 日

- ・第 151 回例会

期日：2024 年 3 月

場所：未定

内容：卒論発表会

- ・2023 年度第 2 回幹事会

期日：2024 年 3 月

場所：未定

- ・会報第 134 号：2023 年 6 月 1 日発行予定

- ・会報第 135 号：2024 年 2 月 1 日発行予定

5) 九州ブロック

- ・令和5年度幹事会の開催
期日：2023年9月20日（予定）
- ・第77回例会の開催
期日：2023年9月21～22日（予定）
場所：琉球大学農学部（予定）
- ・学会誌第73号の刊行
- ・学生合同合宿の開催
- ・学生アイデアコンテストの開催
- ・九州農業食料工学会賞・優秀講演賞（口頭・ポスター）の表彰
- ・共催・後援事業の実施

B. セミナー・学会等

- 1) 2023年度春季フルードパワーシステム講演会
主催：（一社）日本フルードパワーシステム学会
2023年5月25日～26日 機械振興会館（東京都港区）
- 2) 2023年度美味技術学会シンポジウム
主催：美味技術学会
2023年6月8日 東京ビッグサイト（東京都江東区）
- 3) 第146回ロボット工学セミナー
主催：（一社）日本ロボット学会
2023年6月9日 オンライン開催
- 4) 日本機械学会関西支部第386回講習会
主催：（一社）日本機械学会関西支部
2023年7月25日～26日 オンライン開催
- 5) Dynamics and Design Conference 2023
主催：（一社）日本機械学会
2023年8月28日～31日 名古屋大学 東山キャンパス（愛知県名古屋市）
- 6) 第39回ファジィ システム シンポジウム
主催：日本知能情報ファジィ学会
2023年9月5日～7日 ヴィラ・デ・マリアー・ジュ・軽井澤（長野県北佐久郡軽井沢町）
- 7) 第41回日本ロボット学会学術講演会
主催：（一社）日本ロボット学会
2023年9月11日～14日 宮城県仙台国際センター（宮城県仙台市）

8. 関連学会等

1) 日本学術会議

協力学術研究団体として日本学術会議の活動に協力する。本会会員からは第25期（2020年10月～2023年9月）の連携会員に飯田訓久氏、梅田幹雄氏、岸田義典氏、澁澤 栄氏、高橋憲子氏、野口伸氏、橋口公一氏、安永円理子氏の8名が所属する。

2) 日本農学会

学会代表者として井上英二氏が会長任期満了（2023年度定時総会で次期会長と交代）までその任に

当たる。さらに、会長交代後は、新会長がその任に当たる。また、運営委員として五月女格氏がその任に当たる

3) 日本農業工学会

理事（任期：2022 年 5 月～2024 年 5 月）として井上英二氏が会長任期満了（2023 年度定時総会で次期会長と交代）まで、その任に当たる。さらに、会長交代後は、新会長がその任に当たる。また、正会員代議員（任期：2022 年 5 月～2024 年 5 月）として芋生憲司氏、澁澤栄氏がその任に当たり、国際会員代議員として酒井憲司氏がその任に当たる。

4) 農業環境工学系学会連盟

委員として井上英二氏が会長任期満了（2023 年 6 月開催の 2023 年度定時総会で次期会長と交代）まで、その任に当たる。さらに、会長交代後は、新会長がその任に当たる。芋生憲司氏が幹事としてそれぞれの任に当たる。

農業環境工学関連学会 2023 年合同大会（期間：2023 年 9 月 4 日～9 月 8 日，場所：筑波大学及びつくば国際会議場）を開催する。

5) AABEA (EAEF, ISMAB)

ISMAB(International Symposium on Machinery and Mechatronics for Agriculture and Biosystems Engineering)および英文誌 EAEF (Engineering in Agriculture, Environment and Food) に係る，CIAM(台湾農業機械学会)，KSAM(韓国農業機械学会)との協議には，下記の各氏がその任にあたる。

AABEA-JSAM 委員会：井上英二氏，近藤 直氏，飯田訓久氏，西津貴久氏，松井正実氏

ISMAB-JSAM 委員会：井上英二氏，近藤 直氏，芋生憲司氏，岡安崇史氏，田中史彦氏

9. その他

VI 2023 年度予算（案） [6号議案]

表 8 予算（一般会計）

期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

（その 1） 収入の部

単位：

円

項 目	2022 年度 決算	2023 年度 予算	予算/決算 比率 (%)	平均値 (過去 5 年決算)
1. 繰越金	7,074,620	5,154,180	72.9	8,086,996
2. 会費	9,101,950	8,814,000	96.8	10,005,510
(内訳) a. 特別会員	2,700,000	2,700,000	100.0	2,819,568
b. 正会員	5,502,750	5,224,000	94.9	6,069,790
c. 学生会員	329,200	264,000	78.4	403,160
d. 海外会員	6,000	80,000	1,333.3	—
e. 購読会員	564,000	552,000	97.9	690,992
3. 出版物収入	326,511	335,000	102.6	466,712
(内訳) a. 学会誌売上	182,500	180,000	98.6	234,700
b. 講演要旨	7,000	0	—	3,400
c. 刊行物収入	0	5,000	—	6,708
d. 著作権収入	137,011	150,000	109.5	221,904
4. 大会参加費	1,417,000	300,000	—	615,310
5. 広告収入	2,339,500	2,350,000	100.4	2,153,141
6. 掲載論文関係費	1,513,792	1,550,000	102.4	2,414,577
(内訳) a. 別刷り	697,500	700,000	100.4	964,018
b. 超過等負担金	816,292	850,000	104.1	1,450,559
7. 預金利息	40	50	125.0	46
8. 雑収入	147,652	0	0.0	514,535
9. 仮受金	1,259,000	0	0.0	—
10. 立替金戻り	232,640	500,000	214.9	—
合 計	23,412,705	19,009,230	81.2	24,727,572

(その2) 支出の部

単位：円

項 目	2022 年度 決算	2023 年度 予算	予算/決算 比率 (%)	平均値 (過去5年決算)
1. 会議費	26,963	100,000	370.9	254,393
2. 事務費	7,230,121	7,070,000	97.8	6,875,275
(内訳) a. 消耗品	235,879	250,000	106.0	254,313
b. 通信費	729,001	700,000	96.0	672,966
c. 旅費、交通費	181,496	200,000	110.2	232,089
d. 給与・賃金・法定福利費	5,351,591	5,350,000	100.0	5,191,437
e. 事務所経費	345,540	220,000	63.7	236,889
f. OA 機器整備費	203,269	150,000	73.8	146,188
g. 法人管理費	183,345	200,000	109.1	—
3. 事業費	8,430,084	8,040,000	95.4	8,678,054
(内訳) a. ブロック補助費	600,000	600,000	100.0	600,160
b. 学会誌発行費	5,293,226	5,680,000	107.3	5,999,896
(内訳) イ. 編集費	677,631	630,000	93.0	607,598
ロ. 印刷費	3,798,405	3,800,000	100.0	4,248,970
ハ. 発送費	583,440	600,000	102.8	654,370
ニ. 別刷印刷費	233,750	250,000	107.0	291,056
ホ. J-STAGE 掲載費	0	400,000	—	197,902
c. 大会費	1,151,431	300,000	26.1	681,378
(内訳) イ. 大会開催費	1,151,431	300,000	26.1	656,538
ロ. 要旨等制作費	0	0	—	24,840
d. 委員会等費	120,679	110,000	91.2	210,136
e. 部会運営費	40,000	160,000	400.0	92,000
f. 幹事活動費	340,000	340,000	100.0	356,000
g. 学会賞費	333,306	300,000	86.4	277,958
h. 若手支援費	347,400	300,000	600.0	314,080
i. 国際活動支援費	50,000	400,000	800.0	—
j. 役員選挙費	154,042	0	0.0	—
4. 負担金	259,933	280,000	107.7	278,082
5. 雑費	10,440	30,000	287.4	28,588
6. 予備費	232,640	0	—	444,702
7. 立替金	1,259,000	0	0.0	—
8. 仮払金	232,640	0	0.0	—
9. 次年度繰越金	5,154,180	3,489,230	67.7	7,343,244
合 計	23,412,705	19,009,230	81.2	24,655,293

注記：上記の資金の範囲には現金と預金を含みます。

表9 予算（特別会計）

期間：2023年4月1日～2024年3月31日

（その1）基本金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	2022 年度決算	2023 年度予算	項 目	2022 年度決算	2023 年度予算
前年度繰越金	24,912,345	24,912,674	引 出	0	0
(内訳) 定期預金	24,130,028	24,130,132	手数料等	0	0
普通預金	782,317	782,542	次年度繰越金	24,912,674	24,912,974
積立金	0	0	(内訳) 定期預金	24,130,132	24,130,132
利 息	329	300	普通預金	782,542	782,842
合 計	24,912,674	24,912,974	合 計	24,912,674	24,912,974

銀行預金内訳：三井住友信託銀行：10,191,703 円（定期：10,000,000 円＋普通：191,703 円）
 三菱UFJ 銀行：6,539,333 円（定期：6,130,132 円＋普通：409,201 円）
 川口信用金庫：8,181,638 円（定期：8,000,000 円＋普通：181,638 円）

（その2）森基金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	2022 年度決算	2023 年度予算	項 目	2022 年度決算	2023 年度予算
前年度繰越金	1,260,006	1,260,028	引 出	0	0
(内訳) 定期預金	1,260,006	1,260,028	賞品・選考費	0	0
普通預金	0	0	次年度繰越金	1,260,028	1,260,048
積立金	0	0	(内訳) 定期預金	1,260,028	1,260,048
利 息	22	20	普通預金	0	0
合 計	1,260,028	1,260,048	合 計	1,260,028	1,260,048

銀行預金内訳：三菱UFJ 銀行：1,260,028 円（定期：1,260,028 円＋普通：0 円）

（その3）岸田国際学術奨励基金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	2022 年度決算	2023 年度予算	項 目	2022 年度決算	2023 年度予算
前年度繰越金	1,418,201	1,418,222	賞品・選考費	0	0
(内訳) 定期預金	1,000,021	1,000,021	手数料等	0	0
普通預金	418,180	418,201	次年度繰越金	1,418,222	1,418,242
積立金	0	0	(内訳) 定期預金	1,000,021	1,000,021
利 息	21	20	普通預金	418,201	418,221
合 計	1,418,222	1,418,242	合 計	1,418,222	1,418,242

銀行預金内訳：みずほ銀行：1,418,222 円（定期：1,000,021 円＋普通：418,201 円）

（その4）学術活動基金

単位：円

収入の部			支出の部		
項 目	2022 年度決算	2023 年度予算	項 目	2022 年度決算	2023 年度予算
前年度繰越金	2,425,635	3,307,504	準備金（シンポジウム等）	600,000	1,200,000
(内訳) 定期預金	2,000,000	0	CIGR 準備金	0	0
普通預金	425,635	3,307,504	手数料等	2,750	3,000
CIGR 返納金	2,400,000	0	会議費	1,686,800	800,000
利 息	8	10	旅費・謝金（税込）	327,512	300,000
テクノフェスタ参加費等	898,949	850,000	次年度繰越金	3,307,504	2,929,514
農機 API 事業費	0	775,000	(内訳) 定期預金	0	0
返納金（シンポジウム等）	199,974	300,000	普通預金	3,307,504	2,929,514
合 計	5,924,566	5,232,514	合 計	5,924,566	5,232,514

銀行預金内訳：ゆうちょ銀行：3,307,504 円（定期：0 円＋普通：3,307,504 円）

注記：上記の資金の範囲には現金と預金を含みます。

参考資料

2023（令和5）年3月31日現在

表 過去10年間の年度内収支（一般会計）

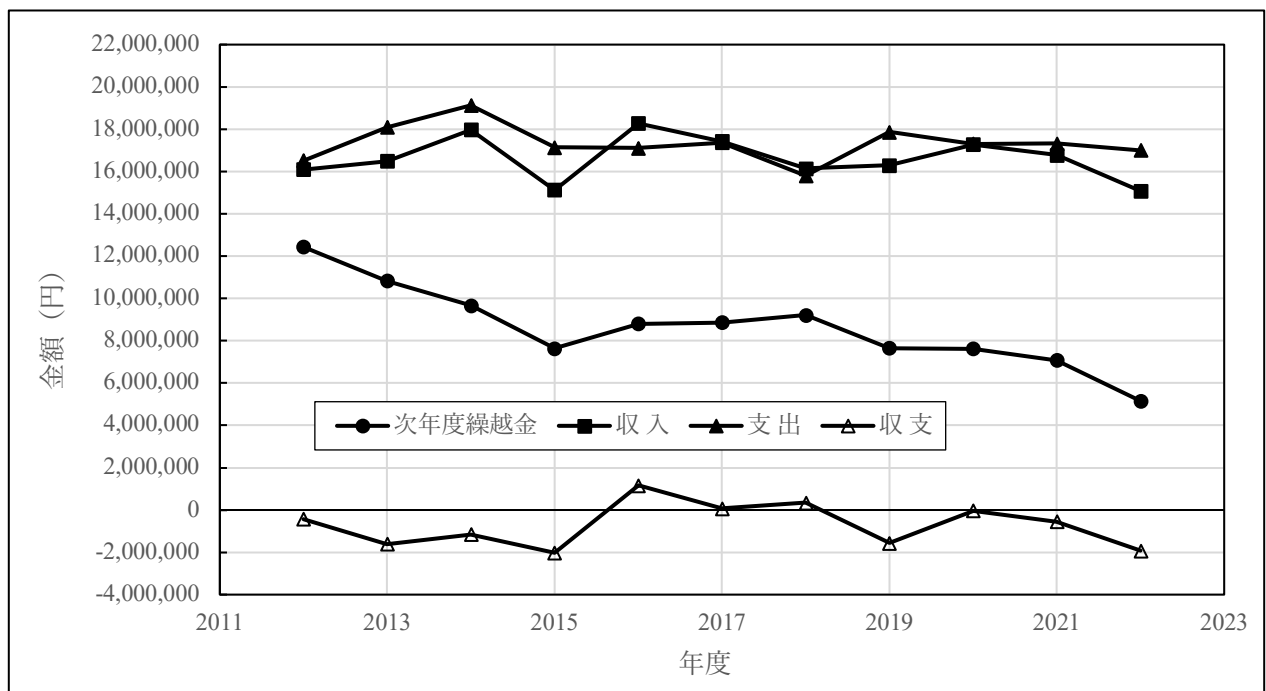
（単位：円）

年 度	2013	2014	2015	2016	2017
次年度繰越金	10,823,612	9,662,959	7,640,331	8,806,147	8,870,942
収入 (前年度繰越金除く)	16,485,398	17,967,312	15,121,258	18,271,322	17,431,903
支 出	18,093,583	19,127,965	17,143,886	17,105,506	17,367,108
収入－支出	△1,608,185	△1,160,653	△2,022,628	1,165,816	64,795

年 度	2018	2019	2020	2021	2022
繰越金	9,215,671	7,652,659	7,621,088	7,074,620	5,154,180
収 入 (前年度繰越金除く)	16,148,488	16,298,480	17,275,913	16,780,520	15,079,085
支 出	15,803,759	17,861,492	17,307,484	17,328,988	16,999,525
収入－支出	344,729	△1,563,012	△31,571	△546,468	△1,920,440

※注：「△」の付いた数値はマイナス値

図 過去10年間の年度内収支（一般会計）の推移



一般社団法人 農業食料工学会
役員・代議員（2021～2022 年度）名簿

任 期：2021 年度定時総会開催日（2021 年 6 月 18 日）～2023 年度定時総会開催日（2023 年 6 月 24 日）
(以下、敬称略)

1. 役員

会 長（代表理事） 井上 英二（九州大学）

副会長 大谷 隆二（東北大学，元農研機構 農業機械研究部門，2022.3 まで）
天羽 弘一（（一財）畜産環境整備機構，前農研機構 農業機械研究部門，2022.4 から）
岡本 宗治（（株）クボタ）

理 事

天羽 弘一（（一財）畜産環境整備機構）	有馬 誠一（愛媛大学）
飯田 訓久（京都大学）	伊藤 博通（神戸大学）
井上 英二（九州大学）	芋生 憲司（東京大学）
岩渕 和則（北海道大学）	梅田 直円（農研機構 農業機械研究部門）
大谷 隆二（東北大学）	岡本 宗治（（株）クボタ）
岡安 崇史（九州大学）	川越 義則（日本大学）
酒井 憲司（東京農工大学）	志藤 博克（農研機構 農業機械研究部門）
田中 史彦（九州大学）	東城 清秀（東京農工大学）
張 樹槐（弘前大学）	西津 貴久（岐阜大学）
松井 正実（宇都宮大学）	山本 二教（ヤンマーアグリ（株））（以上、五十音順）

監 事

貝沼 秀夫（農研機構 北海道農業研究センター） 八谷 満（農研機構 農業機械研究部門）

ブロック長

北海道ブロック長 岩渕 和則（北海道大学）	東北ブロック長 張 樹槐（弘前大学）
関東ブロック長 芋生 憲司（東京大学）	関西ブロック長 飯田 訓久（京都大学）
九州ブロック長 田中 史彦（九州大学）	

2. 代議員（100 名）

阿部 佳之	天羽 弘一	有馬 誠一	飯田 聡	飯田 訓久	石井 一暢
伊藤 博通	稲葉 繁樹	井上 英二	芋生 憲司	岩渕 和則	上加 裕子
梅田 直円	梅田 大樹	裏 猛	王 秀崙	大谷 隆二	岡安 崇史
小川 寛士	小川 雄一	小川 幸春	海津 裕	貝沼 秀夫	柏寄 勝
片平 光彦	勝野 志郎	紙谷 喜則	亀井 雅浩	川越 義則	河野 元信
菊池 豊	岸本 正	北村 豊	木下 榮一郎	小出 章二	河野 靖
小林 研	小松崎 将一	小宮 道士	近藤 直	紺屋 朋子	酒井 憲司
佐竹 利子（2021.10 まで）		佐藤 禎稔	佐野 安信	佐村木 仁	鹿内 健志
志藤 博克	澁谷 幸憲	庄司 浩一	杉本 光穂	鈴木 剛	鈴木 尚俊
積 栄	高塚 裕一	高橋 仁康	高橋 憲子（2021.10 から）		田島 淳
田中 勝千	田中 史彦	近宗 克紀	張 樹槐	帖佐 直	土居 義典
東城 清秀	中井 譲	中川 涉	長坂 善禎	長崎 裕司	中嶋 洋
中野 浩平	中村 隆三	難波 和彦	西浦 芳史	西津 貴久	野口 伸
野口 良造	野波 和好	長谷川 英夫	八谷 満	羽藤 堅治	原 正純
日高 茂實	日高 靖之	平澤 一暁	藤井 幸人	藤岡 修	町田 正人
松井 正実	松島 秀昭	水野 英則	深山 大介	村上 則幸	元林 浩太
森尾 吉成	森本 英嗣	門田 充司	安永 円理子	谷野 章	吉田 智一

（以上、五十音順，所属・敬称略）

3. 事務局

事務局長 宮原 佳彦

委員会・部会（2021～2022 年度）名簿

任 期：2021 年度定時総会開催日（2021 年 6 月 18 日）～2023 年度定時総会開催日（2023 年 6 月 24 日）

（以下、敬称略）

1. 委員会

庶務委員会

委員長 梅田 直円（農研機構 農業機械研究部門）

幹 事 平井 康丸（九州大学） 紺屋 朋子（農研機構 農業機械研究部門）

財務委員会

委員長 天羽 弘一（一財）畜産環境整備機構，前農研機構 農業機械研究部門，2022.3 まで）

大谷 隆二（東北大学，元農研機構 農業機械研究部門，2022.4 から）

幹 事 塚本 隆行（農研機構 農業機械研究部門）

編集委員会

委員長（論文誌担当編集長） 有馬 誠一（愛媛大学）

副委員長（情報誌担当編集長） 富田 宗樹（農研機構 農業機械研究部門）

常任編集委員（論文誌担当） 井原 一高（神戸大学） 小川 雄一（京都大学）

片平 光彦（山形大学） 中野 浩平（岐阜大学）

野口 良造（筑波大学） 野波 和好（鳥取大学）

森本 英嗣（鳥取大学） 門田 充司（岡山大学）

常任編集委員（情報誌担当） 林 和信（農研機構 農業機械研究部門）

野田 崇啓（農研機構 農業機械研究部門）

元林 浩太（農研機構 本部）

吉田 隆延（農研機構 農業機械研究部門）

ブロック編集委員

（北海道ブロック） 小関 成樹（北海道大学）

（東北ブロック） 小出 章二（岩手大学）

（関東ブロック） 五月女 格（東京大学）

（関西ブロック） 小川 雄一（京都大学）

（九州ブロック） 田中 良奈（九州大学）

幹事長（論文誌担当） 上加 裕子（愛媛大学）

（情報誌担当） 井上 秀彦（農研機構 農業機械研究部門）

幹 事（論文誌担当） 梅田 大樹（日本大学） 窪田 陽介（福島大学）

高橋 憲子（愛媛大学） 光岡 宗司（琉球大学）

幹 事（情報誌担当） 大西 明日見（農研機構 農業機械研究部門）

川出 哲生（農研機構 農業機械研究部門）

坪田 将吾（農研機構 農業機械研究部門）

企画委員会

委員長 山本 二教（ヤンマーアグリ(株)）

委 員	石井 一暢 (北海道大学)	山下 善道 (農研機構 東北農業研究センター)
	大森 弘美 (農研機構 農業機械研究部門)	福島 崇志 (三重大学)
	光岡 宗司 (琉球大学)	山田 哲資 (農研機構 基盤技術研究本部)
	梅野 覚 (農研機構 農業機械研究部門)	高塚 裕一 (井関農機(株))
	坂中 一敦 ((株)クボタ)	橋本 悠希 ((株)サタケ)
	福田 禎彦 (三菱マヒンドラ農機(株))	中川 渉 (ヤンマーアグリ(株))
幹 事	佐野 安信 (ヤンマーアグリ(株))	
幹事 (会計)	西邑 晃子 (ヤンマーアグリ(株))	

表彰委員会

委員長	松井 正実 (宇都宮大学)	
委 員	大谷 隆二 (東北大学)	梅田 直円 (農研機構 農業機械研究部門)
	天羽 弘一 (一財) 畜産環境整備機構)	有馬 誠一 (愛媛大学)
	川越 義則 (日本大学)	岩渕 和則 (北海道大学)
	張 樹槐 (弘前大学)	芋生 憲司 (東京大学)
	飯田 訓久 (京都大学)	田中 史彦 (九州大学)

情報委員会

委員長	伊藤 博通 (神戸大学)	
委 員	石井 一暢 (北海道大学)	山本 聡史 (秋田県立大学)
	荒井 圭介 (農研機構 農業機械研究部門)	難波 和彦 (岡山大学)
	稲葉 繁樹 (佐賀大学)	
幹 事	中島 周作 (神戸大学)	

国際交流委員会

委員長	岡安 崇史 (九州大学)	
副委員長	濱中 大介 (鹿児島大学)	
委 員	庄司 浩一 (神戸大学)	トファエル・アハメド (筑波大学)

産学官連携委員会

委員長	志藤 博克 (農研機構 農業機械研究部門)	
委 員	藤岡 智則 (井関農機(株))	松川 雅彦 (三菱マヒンドラ農機(株))
	裏 猛 ((株)クボタ)	水野 英則 ((株)サタケ)
	梶原 康一 (ヤンマーアグリ(株))	西村 洋 (秋田県立大学)
	野波 和好 (鳥取大学)	庄司 浩一 (神戸大学)
	深山 大介 (農研機構 農業機械研究部門)	日高 靖之 (農研機構 本部)
	小林 有一 (農研機構 基盤技術研究本部)	川原田 直也 (三重県農業研究所)
幹 事	山崎 裕文 (農研機構 農業機械研究部門, 2022.3 まで)	
	田中 正浩 (農研機構 農業機械研究部門, 2022.4 から)	

EAEF 誌編集委員会

委員長	西津 貴久 (岐阜大学)	
副委員長	難波 和彦 (岡山大学)	
委 員	王 秀崙 (三重大学)	小川 幸春 (千葉大学)

幹 事 今泉 鉄平 (岐阜大学) Alin Khaliduzzaman (秋田県立大学)
山本 聡史 (秋田県立大学)

AABEA-JSAM 委員会

委員長 (AABEA 検討, ISMAB 検討小委員長) 井上 英二 (九州大学)
AABEA 検討小委員会委員 近藤 直 (京都大学) 飯田 訓久 (京都大学)
西津 貴久 (岐阜大学) 松井 正実 (宇都宮大学)
ISMAB 検討小委員会委員 近藤 直 (京都大学) 芋生 憲司 (東京大学)
岡安 崇史 (九州大学) 田中 史彦 (九州大学)

農業 IT 検討委員会

委員長 川越 義則 (日本大学)
副委員長 森本 英嗣 (神戸大学)
委 員 青木 循 (農研機構 農業機械研究部門) 池田 信義 ((株)サタケ)
裏 猛 ((株)クボタ) 新熊 章浩 (ヤンマーアグリ(株))
高橋 努 (井関農機(株)) 田中 正浩 (農研機構 農業機械研究部門)
錦織 将浩 (三菱マヒンドラ農機(株))
幹 事 梅田 大樹 (日本大学)

法人化後運営委員会

委員長 東城 清秀 (東京農工大学)
委 員 平井 康丸 (九州大学) 塚本 隆行 (農研機構 農業機械研究部門)

広報担当理事

酒井 憲司 (東京農工大学)

2. 部会

農業機械部会

部 会 長 松井 正実 (宇都宮大学)
運営委員 谷口 大輔 ((株)クボタ) 上窪 啓太 (ヤンマーアグリ(株))
小林 省吾 (井関農機(株)) 石川 昌範 (三菱マヒンドラ農機(株))
部会幹事長 志藤 博克 (農研機構 農業機械研究部門)
部会幹事 川瀬 芳順 (農研機構 農業機械研究部門)
ヌウエン・ヴァン・ナン (農研機構 農業機械研究部門)
福島 崇志 (三重大学)
太田 董平 (農研機構 農業機械研究部門)

食料・食品工学部会

部 会 長 小出 章二 (岩手大学)
副部会長 北村 豊 (筑波大学)
運営委員 今泉 鉄平 (岐阜大学) 小川 幸春 (千葉大学)
黒木信一郎 (神戸大学) 小関 成樹 (北海道大学)
五月女 格 (東京大学) 田中 良奈 (九州大学)

	田中 史彦 (九州大学)	中野 浩平 (岐阜大学)
	濱中 大介 (鹿児島大学)	安永円理子 (東京大学)
部会幹事	折笠 貴寛 (岩手大学)	

IT・メカトロニクス部会

部会長	海津 裕 (東京大学)	
副部会長	森尾 吉成 (三重大大学)	
運営委員	長坂 善禎 (北里大学)	帖佐 直 (東京農工大学)
	岡安 崇史 (九州大学)	森本 英嗣 (神戸大学)
	山本 聡史 (秋田県立大学)	岡本 博史 (北海道大学)
	原 圭祐 (北海道立総合研究機構 中央農業試験場)	
	樹野 淳也 (近畿大学)	深見 公一郎 (農研機構 九州沖縄農業研究センター)
	窪田 陽介 (福島大学)	
アドバイザー	飯田 訓久 (京都大学)	野口 伸 (北海道大学)
幹事	栗田 寛樹 (愛知工科大学)	

生物資源部会

部会長	野口 良造 (京都大学)	
副部会長	井原 一高 (神戸大学)	
運営委員	天羽 弘一 (一財) 畜産環境整備機構)	芋生 憲司 (東京大学)
	小島 陽一郎 (農研機構 畜産研究部門)	白神 敬久 ((株)奈良機械製作所)
	田中 章浩 (農研機構 九州沖縄農業研究センター)	田中 宗浩 (佐賀大学)
	古橋 賢一 (東京大学)	前田 武己 (岩手大学)
	王 秀崙 (三重大大学)	
幹事	石川 志保 (北海道大学)	滝沢 憲治 (三重大大学)
	山下 善道 (農研機構 東北農業研究センター)	

一般社団法人 農業食料工学会

名誉会員名簿

2023年5月10日現在

藍 房和	伊藤 信孝	内野 敏剛	梅田 幹雄	大下 誠一	岡本 嗣男
川村 周三	唐橋 需	喜多 毅	木谷 収	小池 正之	小中 俊雄
笹尾 彰	瀬尾 康久	澁澤 栄	高井 宗宏	並河 清	山崎 稔
行本 修					

(計19名, 五十音順, 敬称略)